

## 令和4年第19回渋谷区教育委員会定例会会議録

- 1 開会日時 令和4年10月6日(木) 午前10時00分
- 2 閉会日時 令和4年10月6日(木) 午前10時30分
- 3 場 所 渋谷区役所4階教育委員会室
- 4 出席者

### (委員)

教育長 五十嵐 俊子	委員 坂本 真理子
委員 平岩 国泰	委員 松澤 香
委員 松本 理寿輝	

### (事務局職員)

教育委員会事務局次長	菅原 幸信
教育DX政策推進特命部長	篠原 保男
教育委員会事務局参事	(教育DX政策推進特命部長兼務)
学校施設整備調整担当課長	堀江 崇
学務課長	横手 麻理
教育指導課長	渡辺 浩一
教育センター所長	小林 繁
副参事(特命担当課長)	(教育センター所長兼務)

(書記) 小山 夏紀 伊藤 伸雄

- 5 会議の概要 別紙のとおり

## 報告

### (1) 渋谷区立中学校における部活動の地域移行について

[資料1: 渋谷区立中学校における部活動の地域移行について シブヤ部活動改革プロジェクト]

## 議事運営等

- 令和4年第19回教育委員会定例会を開会
- 議事録署名に松本委員を指名
- 渋谷区教育委員会会議規則第3条の2に基づき松本委員がオンライン出席
- 大日方委員、地域学校支援課長が欠席

## ■ 教育長報告要旨

- まず、9月26日から30日までの5日間、区立幼稚園の入園希望申込期間に合わせて、区立幼稚園の取組をPRする事業を開催した。区役所1階のエレベーターホールにて、5つの園が合同でパネルや映像・画像、実際の園児たちの作品等を展示し、来庁者の方々に区立幼稚園の魅力を披露した。次に、9月28日には、第75回渋谷区立中学校陸上競技大会が、秋晴れの中、新国立競技場において開催された。新型コロナウイルス感染症の影響により、過去2大会は休会となり、3年ぶりの開催であった。また、国立競技場での開催は9年ぶりである。全校生徒が応援に駆け付ける中、3年女子100mで大会新記録が出るなど、歓喜の声と声援が響く、大変すばらしい大会となった。また、この選手は、今年度の全日本中学校陸上競技選手権大会の女子四種競技において、全国3位に入賞しており、当日は区長から表彰も行われた。10月17日には、第66回渋谷区立小学校陸上記録会が開催される。次に、10月4日には、LINE CUBU SHIBUYAにて、令和4年度渋谷区区政功労者表彰式が挙行された。「区制施行90周年」と冠し、区政の発展に尽くされた12名の方々に對して表彰が行われた。式典では、10月1日に区制施行90周年を迎えたことを記念し制作された記念誌「渋谷区のちから。」の紹介及び記念映像が上映された。区立幼稚園・小学校・中学校では、昨日、前期の終業式を行い、6日から10日まで秋季休業となる。短い期間であるが、子供たちも教員も心身ともにリフレッシュしてほしいと思う。

## ◆ 報告 1

渋谷区立中学校における部活動の地域移行について

### ---◇ 説明要旨 -----

(※別添資料1に基づき教育指導課長が説明)

- 渋谷区立中学校における部活動の地域移行について説明する。令和4年6月に国から「令和5年度以降令和7年度末を目途に、休日の部活動から段階的に地域移行していくこと」の方向性が提示された。渋谷区では、令和3年度から先行して「渋谷部活動改革プロジェクト」を実施している。令和3年10月に、部活動改革プロジェクトを推進する体制として、「一般社団法人 渋谷ユナイテッド」を設立した。教育委員会とスポーツ部が連携できるような

体制となっている。まず、区内の中学生にアンケートを実施し、学校にはないがやってみたい部活動の調査を行い、令和3年11月から試行実施として、渋谷ユナイテッドの部活動として9種目を設置し運営を始めた。次に、「一般社団法人 渋谷ユナイテッド」は、スポーツや文化活動を通して、生涯にわたり心身の健康増進をする取組や環境を作ることを目指している。渋谷区の中学校では、学校の規模やこれまでの経緯の中で、様々な部活動が行われてきたが、学校によっては設置されていない種目もある。また、参加部員数が減少して、単独校ではチームが組めない種目もある。渋谷ユナイテッドでは、試行実施として、新規の部活動を9種目スタートさせたが、今年度からはサッカー部をはじめとして、既存の部活動の地域移行に着手している。5ページ目に示したサッカー以外の種目が、渋谷ユナイテッドの活動として土曜日に実施している。サッカーについては、昨年度は月1回の合同練習会から始めて、今年度は地域移行モデル種目に設定し、夏の大会終了後から土曜日はすべて渋谷ユナイテッドに移行して練習を実施している。今年度は、サッカーのほかに、硬式テニス、陸上についても順次取り組んでいく予定である。6ページ目は、活動の様子である。7ページ目は、関係団体や機関との連携の様子を示したものである。来年度はモデル校として8校のうち2校を設定し、部活動マネージャーを1名ずつ配置する予定である。この部活動マネージャーは、学校に常勤し、部活動に関わる保護者等への連絡や出欠席の管理、部活動指導員や渋谷ユナイテッドとの連絡調整等を行い、教員の負担軽減を図る。今後は、渋谷ユナイテッドの体制の整備・強化を中心に、資金の確保や人材の確保など、様々な課題がある。文化部についても着手していく必要がある。令和7年度までに、種目ごとに拠点校を整備し、土日についてはすべての種目において地域移行ができるように、そして、平日の部活動も可能な種目について取り組んでいく。9ページ目は、運動部における部活動の地域移行についての改革の方向性を示している。令和5年度は、原宿外苑中学校と代々木中学校をモデル校として、地域移行に着手する。令和6年度は学校建て替えのための移転も踏まえて、広尾中学校と松濤中学校をモデル校とする予定である。まだ整備していかなければならない様々な課題があるが、一つ一つ課題に対応しながら、これからも渋谷ユナイテッドとスポーツ部、教育委員会、そして文化部においては庁内の他部署とも協力して部活動改革を推進していく。10ページ目は、新中学1年生（小学6年生）向けの見学会実施のお知らせのためのチラシである。令和4年10月15日、29日、11月12日の日程で、種目ごとに見学会を実施する。このチラシは、令和5年度入学生向け学校説明会において、各中学校にて配布している。

(平岩委員)

○日本の先進的事例になると思うので、とても楽しみにしている。最終的に目指している姿を教えてください。

(教育指導課長)

○休日だけではなく平日も含め、教員が関わることなく地域の指導者に来ていただき、部活動を地域移行していくことである。会場については、複数の学校の子供たちが集まれるような場所を設定して、地域のスポーツクラブのような形で取り組めるような体制を構築していきたいと考えている。

(平岩委員)

○部活動をやりたい先生がいた場合、どのように考えているのか。また、全て地域移行する場合、予算としてどれくらい掛かるのか教えてください。

(教育指導課長)

○教員の希望があった場合は、できるだけ意向に沿った形で部活動に携われるようにしていきたいと考えている。勤務時間内・勤務時間外にまたがる活動になるため、文科省での検討も踏まえて考えていきたいと思う。予算については、スポーツ部の所掌になるため、詳細については把握していない。

(平岩委員)

○渋谷ユナイテッドで予算をしっかりと確保していくモデルも考えていると思うが、そんなに簡単ではない気がするので、予算確保はある程度区で行っていく必要があると考える。これは、渋谷区だけではなく全国的に最大の課題になると思う。

(松本委員)

○この取組は、地域資源を生かした開かれた学校づくりをしていく上でも、全国に先駆けた先進的な取組になると思うので、充実した形で進めていけると良いと思う。3点質問がある。1点目は、子供たちの安全管理について、どのように検討されているのか。2点目は、教育委員会との連携は具体的にどのように検討されているのか。3点目は、スポンサーは初めのうちは多く集まると思うが、持続可能性の観点だと難しいと思うので、地域の方から会費等をもらいながら、運営していくことがポイントになってくると思う。そこで、安定的な財源の確保について、どのように検討されているのか。

(教育指導課長)

○1点目については、渋谷ユナイテッドの中で部活動マネージャーを置いており、指導面のほかに運営管理や事故発生時の窓口として対応することとしている。2点目については、部活動改革の方向性について、スポーツ部から相談を受けており、その内容を学校に伝えたときに実際に機能するかどうか、また、現場への配慮等について、教育委員会が丁寧にに関わりながら、運営がスムーズに進むように、調整役を担っていきたいと考えている。3点目については、現在も種目によっては会費を徴収しながら進めており、通常の部活動でも一定額を部費として徴収しているケースも多く見られるため、なるべく高額にならない範囲で会費を徴収するなど財源確保に努めていきたいと考えている。

(松本委員)

○部活動マネージャーの常駐はすごく良い考えだと思う。部活動マネージャーの所轄について教えてほしい。

(教育指導課長)

○部活動マネージャーは、渋谷ユナイテッドで配置している。

(松本委員)

○非常に前向きな取組だと思うので、積極的に進めていただきたい。

(坂本委員)

○学校には、渋谷ユナイテッドの窓口として、出欠確認等を把握する教員はいるのか。

(教育指導課長)

○基本的に部活動マネージャーが出欠確認等を一括して把握するため、教員は部活動マネージャーを通して、情報共有できる体制となっている。

(坂本委員)

○学校外での活動になるので、子供たちの状況をしっかり管理できるような体制を作っていただけると安心する。また、クラウドファンディングのように、区民から渋谷ユナイテッドを支援するような仕組みがあると、学校教育にも良いと思うし、財源確保をしていく工夫は必要だと考える。2点質問がある。1点目は、中学校では放課後に様々な部活を行っているが、今後は土日だけに限定するのか。2点目は、バスケットボールやバレーボール等で活動している子供たちも、将来的には渋谷ユナイテッドに入っていくことになるのか。

(教育指導課長)

○現状、平日の午後3時から午後6時の指導者の確保が難しい状況である。これを踏まえ、まずは土日の教員の負担を減らしても、部活動が継続できるようにすることを目指している。その次の段階として、平日の部活動も地域移行し、地域の指導者で部活動ができるように進めていきたいと考えている。

(坂本委員)

○移行期間の間は、土日も教員が一部指導という形で関われるという理解で合っているか。

(教育指導課長)

○そのとおりである。平日の部活動についても、指導者等の問題で地域移行が難しい種目は、教員が関わりながら進めていくことを考えている。

(松澤委員)

○様々な課題に先進的に取り組まれているので、非常に良い試みだと感じた。また、地域の理解や協力は非常に大事になってくると改めて感じた。9種目の部活動は、どのような視点で選ばれたのか教えてほしい。

(教育指導課長)

○種目の選定に当たり、子供たちの声を聞いている。また、実際に指導できるかについても検討しており、これらを掛け合わせて実施可能な種目を選定している。

(松澤委員)

○部活動として実施可能か、また指導者が見つかるかという点が、まさに教育委員会として取り組むべきところだと思う。なるべく子供たちの声に応えていければ良いと思う。

(平岩委員)

○私の私立の学校では、全て外部の指導者で対応しており、教員の中でやりたい人がいた場合は、残業の範囲内で対応している。顧問の先生は役割として一応付けており、ほとんど練習には参加していないが、今のところ大きな問題はない。ただ、部活動指導員の研修には一年に一回参加している。資料に記載があったように、いずれは私立の子供たちや地域の人が入ってくるようになることをとても楽しみに感じている。私の学校では、小中高で剣道をやっているが、一箇所で活動できるので、地域の人が入ってきても成り立つことが想像できる。

一方、球技系は、大人と子供が同時に活動することは難しいと思う。色々な事故やトラブルはあると思うが、それを乗り越えてやっていく必要があると考える。また、財源確保について、区民の方にお世話になるのは良いと思うが、卒業生に寄付をしてもらう方法もあると思う。具体的なやり方としては、卒業時に一括してもらう方法やマンスリーサポートのように毎月もらう方法が考えられる。

--◇議事結果 -----

○了承する。

議事終了 閉会

上記記載の記録について相違ないことを認め、ここに署名する。

教育長 五十嵐 俊 子

委員 松 本 理寿輝